

## “ai & imo Takaura” の活動に取り組む前と後の キャリア教育に関するアンケート結果の比較

(1)あなたは、地域(高原や浦庄)の良さについて知っていますか。

	取組前(6/22・回答40人)		取組後(12/18・回答38人)	
ア.よく知っている	25.0%	87.5%	52.6%	97.4%
イ.少しは知っている	62.5%		44.8%	
ウ.あまり知らない	7.5%	12.5%	0.0%	2.6%
エ.知らない	5.0%		2.6%	

(分析) 取り組み後、地域の良さを「よく知っている」と答えた生徒の割合が倍増し、取り組み前に1割いた「知らない」生徒が減少した。学習を通して、多くの生徒たちが地域に目を向け、地域の方々の様々な支えに気づいたことは、大きな成果である。

(2)あなたは、高浦中学校の良さについて知っていますか。

	取組前(6/22・回答40人)		取組後(12/18・回答38人)	
ア.よく知っている	27.5%	82.5%	68.4%	97.4%
イ.少しは知っている	55.0%		29.0%	
ウ.あまり知らない	15.0%	17.5%	0.0%	2.6%
エ.知らない	2.5%		2.6%	

(分析) 取り組み後、学校の良さを「よく知っている」と答えた生徒の割合は2倍をはるかに超えて増加し、取り組み前に2割弱いた「知らない」生徒は激減した。様々な学習場面において、授業準備や農園の世話をしてくれる教員や友人のことを紹介してきたこと、本取組のみならず、様々な学校生活や行事を通じて本校の良さに多くの生徒が気づいたためであり、このことも、大きな成果となった。

(3)あなたは、自分には良いところがあると思いますか。

	取組前(6/22・回答40人)		取組後(12/18・回答38人)	
ア.ある	32.5%	95.0%	31.6%	97.4%
イ.少しはある	62.5%		65.8%	
ウ.あまりない	5.0%	5.0%	0.0%	2.6%
エ.ない	0.0%		2.6%	

(分析) 大きな変化はみられなかった。

(4)あなたは、地域や学校のために何か役立つことをしたいと思いますか。

	取組前(6/22・回答40人)		取組後(12/18・回答38人)	
ア.そう思う	67.5%	95.0%	60.5%	94.7%
イ.ある程度そう思う	27.5%		34.2%	
ウ.あまりそう思わない	2.5%	5.0%	2.6%	5.3%
エ.思わない	2.5%		2.6%	

(分析) 大きな変化はみられなかった。

(5)あなたは、地域や学校のために何か役立つことができると思いますか。(2回目無回答1名)

	取組前(6/22・回答40人)		取組後(12/18・回答37人)	
ア.そう思う	30.0%	87.5%	32.4%	89.1%
イ.ある程度そう思う	57.5%		56.8%	
ウ.あまりそう思わない	10.0%	12.5%	8.1%	10.8%
エ.思わない	2.5%		2.7%	

(分析) 大きな変化はみられなかった。

(6)あなたは、他者(友達・家族・先生等)と協力・協働して、何かの課題を解決することに興味がありますか。

	取組前(6/22・回答40人)		取組後(12/18・回答38人)	
ア.興味がある	57.5%	87.5%	65.8%	94.7%
イ.少しは興味がある	30.0%		28.9%	
ウ.あまり興味はない	10.0%	12.5%	2.6%	5.3%
エ.興味がない	2.5%		2.6%	

(分析) 取組後に「協力・協働すること」への興味が高まったと言える。学年全体で研修を受け、農園経営、商品製作、商品販売とできるだけ全員で取り組んだことで、生徒たちが「協働」することの良さを体感できた結果ではないかと考える。

(7)あなたは、将来の夢や目標を持っていますか。(2回目無回答1名)

	取組前(6/22・回答40人)	取組後(12/18・回答37人)
ア.ある	67.5%	51.4%
イ.少しは考えた	30.0%	40.5%
エ.ない	2.5%	8.1%

(分析)大きな変化はみられなかったが、2名の生徒が夢や目標を失っていることは残念である。

(8)あなたは将来、自分が働いている姿を考えたことがありますか。

	取組前(6/22・回答40人)	取組後(12/18・回答38人)
ア.ある	37.5%	26.3%
イ.少しは考えた	45.0%	52.6%
エ.ない	17.5%	21.1%

(分析)大きな変化はみられなかったが、今回の取組が自分の「働くこと」に直結しなかったことに対する何らかの手立てを講じる必要があると考えている。

(9)今、学校で学習していることは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。

	取組前(6/22・回答40人)	取組後(12/18・回答38人)
ア.そう思う	80.0%	73.7%
イ.ある程度そう思う	17.5%	26.3%
ウ.あまりそう思わない	0.0%	0.0%
エ.思わない	2.5%	0.0%

(分析)この学年の生徒は、取り組む前から意識が高かった。本取組を通じて、すべての生徒が「役に立つ」という認識を得たことは大いに評価できる。

(10)「働く」ために必要な能力とは何だと思えますか。次にあげる項目から3つ選んでください。

	取組前 (6/22・回答40人)	取組後 (12/18・回答38人)	(取組前Best5)	(取組後Best5)
ア.学力	18(45.0%)	9(23.6%)	1. 学力	1. 判断力
イ.体力	12(30.0%)	0(0.0%)	1. 判断力	2. 積極性
ウ.忍耐力	4(10.0%)	2(5.3%)	3. 積極性	3. 継続する力
エ.継続する力	7(17.5%)	15(39.5%)	4. 体力	4. 決断力
オ.積極性	13(32.5%)	18(47.4%)	5. 決断力	5. 課題発見力
カ.優しさ	9(22.5%)	7(18.4%)	5. 優しさ	
キ.素直さ	5(12.5%)	7(18.4%)		
ク.落ち着き	5(12.5%)	2(5.3%)		
ケ.ていねいさ	5(12.5%)	3(7.9%)		
コ.課題発見能力	4(10.0%)	12(31.6%)		
サ.表現力	5(12.5%)	3(7.9%)		
シ.判断力	18(45.0%)	19(50.0%)		
ス.決断力	9(22.5%)	13(34.2%)		
セ.ICTに関する力	5(12.5%)	0(0.0%)		
ソ.リーダーシップ	1(2.5%)	1(2.6%)		

(分析1)本学習の取組前は、「学力」が最も重要なものであるという認識の生徒がほぼ半数を占めていたが、取組後は、「継続する力」「課題発見能力」「積極性」「決断力」等の割合が大幅に増えた。生徒が様々な体験を通して得た実感が価値観の拡がりにつながったと思われる。  
また、「優しさ」「素直さ」等については、取組前後で大きな変化は見られず、安定して必要と捉えているようだ。

(11)「働く」ためにあなたが身につけたい能力とは何ですか。次にあげる項目から3つ選んでください。

	取組前 (6/22・回答40人)	取組後 (12/18・回答38人)	(取組前Best5)	(取組後Best5)
ア.学力	23(57.5%)	11(28.9%)	1. 学力	1. 判断力
イ.体力	7(17.5%)	2(5.3%)	2. 判断力	2. 積極性
ウ.忍耐力	6(15.0%)	4(10.5%)	3. 積極性	2. 決断力
エ.継続する力	8(20.0%)	11(28.9%)	4. 決断力	4. 継続する力
オ.積極性	13(32.5%)	14(36.8%)	5. 体力	4. 学力
カ.優しさ	6(15.0%)	5(13.2%)	5. 優しさ	
キ.素直さ	7(17.5%)	5(13.2%)		
ク.落ち着き	2(5.0%)	4(10.5%)		
ケ.ていねいさ	4(10.0%)	7(18.4%)		
コ.課題発見能力	4(10.0%)	8(21.1%)		
サ.表現力	6(15.0%)	4(10.5%)		
シ.判断力	21(52.5%)	18(47.4%)		
ス.決断力	10(25.0%)	14(36.8%)		
セ.ICTに関する力	2(5.0%)	1(2.6%)		
ソ.リーダーシップ	1(2.5%)	6(15.8%)		

(分析2)身につけたい能力は問(10)の必要な能力と同傾向にあるのは当然だが、10ポイント以上割合が増えた項目は「リーダーシップ」「課題発見能力」「決断力」であった。  
これから必要とされている「ICTに関する力」が低いのは、今回の取組の大きな改善点であり、今後様々な取組を講じたい。

(備考)2回目のアンケート回答者数2名減は、転校1名と欠席1名。2回目のアンケート(5)(7)は1名が無回答